

私のひとこと



「あなた幸せ？」という言葉をよく耳にします。幸せって何を言っているのでしょうか。あの人とうまくいっているということでしょうか。

⑨ 広報よこしば

テレビのおしんはどうなんですか。考えさせられますね。おしんを取り巻くいろいろな人の心中、私たちの生きざまと比較してさまざまに響きます。演技のうまさを感じる人、実感として受けとる人、そんな馬鹿なと思う人もあるかも知れませんね。おしんのどんな苦境苦勞にも耐え忍ぶ心意気に涙を流す人、おしんに同情して助力してくれる温かい心に共鳴する人など、いろいろですね。おしんのコマージュを見ては子供まで「あつおしんだ」と言っているみたいです。おしんの言葉がよく話題の中に

あなた幸せですか

長谷川重郎平(本町)

人は皆幸せを求めて生きていますね。では一体幸せの条件は？ 一に健康に恵まれる。健康でなかったらどんなに立派な家に住み、財宝に富んでもうまい食物もだめ。二に家庭が平和である。みんな揃って健康が保たれて和やかな家庭。三に適当に衣食住に恵まれる。四に家庭が平和で人に好かれる。会う人ごとに親しく愛されるということは、何となく心温まる思いです。五に仕事を持つことは張りがある。健康でいつまでも働けることはいいですね。そして何か趣味を持ち、明るく生きたいものです。



俳壇  
土屋 栗水  
成田 様子  
黄落や伝説のある大銀杏  
ゆり上げて荷重をなだむ芦負女  
宇井 芝童  
蜻蛉や小川ながらも国境

藤代 ゆう  
靖国の黄落しきり妻ら老ゆ  
向後 雅子  
黄落の銀杏の下の吾身かな  
津田 若菜  
探偵本伏せて俄に火の恋し  
若梅あやめ  
黄落や鍵つ子遊ぶ友去りて  
海保 きみ  
隅田川ビルさかしまに都鳥

【上界地域】  
上界地域の庚申様を建立の年代順に数えると、北清水神社境内の宝永四年(一七〇七)、立会の正徳六年(一七一六)、新島本郷の寛延二年(一七四九)及び天明三年(一七八三)、屋形四所神社・西照寺・宮前・道貫のそれぞれ寛政十二年(一八〇〇)、新島本郷の安政七年・四所神社の万延元年(共に一八六〇)、それに三本松の大正四年ということになります。

いぼ取りの神様

この地域では、庚申様への願望祈願に「いぼ取りの神様」としての信仰が多いようです。北清水神社の境内と新島道貫の庚申様には、「庚申様の台座などに横上げられていた小石を借りてきて、いぼの患部をこするといつかきれいに治る。そうすると、借りてきた小石を二個にしてお返しする。そのご利益はあらたかたか、一時は庚申様が小石で埋まってしまったほどだった」という話が伝わっています。

は、北清水や道貫と同じです。北清水や道貫には、今は全くその風習はありませんが、立会には現在も残っています。

古い庚申様を中心にご紹介を続けてきましたが、この地域には、大正四年に建立された屋形三本松の庚申様という、珍しい存在もあります。これは、集落の悪疫退散のために、旧村落のある庚申様の分霊を祭ったものと言われていました。庚申待夜行事もほとんど昔語りになっている近世には、ちよつと考えられない気もします。

以上三回にわたり、地域的に庚申様のあらましを述べてきました。が、庚申を更新に通じさせ、六十年毎に祭り改められていたはずの「庚申塚」と思われるものには、形の上からは中台角田・長倉・鳥喰下の庚申様が、また建立年代などからは屋形四所神社・谷台鎮守参道の庚申様が考えられます。

横芝の碑 131  
地域別に見る  
庚申様のあらまし(下)

建っていて「正面金剛神」という額が掲げられています。これは「青面金剛神」の誤りだと思えます。そして、この庚申様には白布や糸かせ(糸を枠状にたぐり集めたもの)がたぐり集えられています。この庚申様もいぼ取りの神様で、「この白布や糸かせを借りてきて患部をこする。そして祈願が叶うと倍にしてお返しする」方法

○写真は新島道貫の「いぼ取りの神様」と言われた庚申様で、「小石の山で現在のように本体が壊れてしまった」という人がいます。

